

令和4年度 自己評価報告書

令和5年5月10日

学) 杉原学園 松永幼稚園

1. 本園の教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

子どもが主体的に考えて活動できるような環境設定

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもが楽しめる環境	A	子どもたちが楽しみながら活動をおこなえるように環境設定をおこなった。
2	個々の対応	B	ひとりひとりに合った声かけをおこなった。また、園児を否定しない声掛けも心掛けた。
3	計画性	A	園児と共に月の目標を定め、それに向かって保育を進められた。また、年間指導計画から月案を作成、月案から週案を作成することに重点をおき、年間を通して連続性のある教育活動をおこなえた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	遊戯会を2学期におこなったことにより、3学期にはゆとりをもって子どもたちの主体性を高める教育活動を展開できた。また、教諭が主体的に新しい保育に取り組んでいく姿勢が見られ、充実した1年だった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園児の見取りを深める	園児のよい部分をたくさん見つけ、そこを伸ばせるような関りをしていく。
2	サークルタイムの充実	何事もみんなで話し合い、発言できる安心感と自信を持てるようにする。
3	見通しをもった保育	先を考え、優先すべきことなど準を考えて計画的に保育が展開できるようにする。
4	支援が必要な子の対応、療育施設との連携	ひとりひとりに合った対応を心がけ、療育施設との連携をしっかりと、子どもにとって過ごしやすい環境を作る。